



ルールやきまりについての調査【6年生児童用】

あなたのふだんの生活に関して、聞かせてください。テストではありませんので、あなたの感じていることや思っていることを安心して答えてください。

回答は、えらんだマークをえんぴつでぬりつぶして答えてください。

: 空白マーク

: 正しいぬりつぶし

: 不十分なぬりつぶし

この用紙は機械でしよ理します。回答らん以外に書きこみをしたり、用紙をよごしたり、おり目をつけたりしないように注意してください。

- (1) 6年生になってから今日までのことを思い出して答えてください。あなたのふだんの行動や道徳の時間について感じていることを、次の文をよく読み、一番当てはまるものを1つ選んでマークしてください。

		よく当てはまる	だいたい当てはまる	あまり当てはまらない	当てはまらない
1	わたしは、授業の始まりには席についている。				
2	わたしは、朝、先生や友だちに自分から進んであいさつをしている。				
3	わたしは、宿題や授業に必要な持ち物を忘れていない。				
4	わたしは、登下校の時には、一列に並んで歩道を歩いている。				
5	わたしは、教室やろう下に落ちているゴミを先生に言われなくてもひろっている。				
6	わたしは、ろうかを走っていない。				
7	わたしは、やらなくてはならない作業をとちゅうで投げ出したり、あきらめたりしていない。				
8	わたしは、友だちに悪いことをしようときそわれても、はっきりと、ことわっている。				
9	わたしは、授業中は集中して学習や作業に取り組んでいる。				
10	わたしは、友だちの悪口を言っていない。				
11	わたしは、仲間はずれをしていない。				
12	わたしは、友だちが仲間はずれやいじわるをしているのを見たとき、注意している。				
13	わたしは、他の人の発表を聞いて、わらったり、ひやかしたりしていない。				
14	わたしは、困っている友だちや下級生を助けてあげている。				
15	グループ活動では、わがまを言ったり、自分勝手な行動をしたりしないで協力している。				
16	わたしは、決められた係・委員会の仕事をまわりから言われなくても、自分から進んでやっている。				
17	わたしは、先生が見ていなくても、担当の場所のそうじをていねいにしている。				
18	わたしは、毎日、進んで家の仕事を手伝っている。				

★マークのしかた



		よく当てはまる	だいたい当てはまる	あまり当てはまらない	当てはまらない
19	道徳の時間に、友だちの考えを聞いて、はっとしたり、なるほどと思ったりしたことがある。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
20	道徳の時間に学習したことを生活の中で思い出したことがある。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
21	道徳の時間に学習したことを家の人に話したことがある。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
22	道徳の時間は大切だと思う。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

(2) 次のことについて、あなたはどのように思いますか。あなたの感じ方に一番当てはまるものを1つ選んでマークしてください。

		大切である	少し大切である	あまり大切ではない	大切ではない
1	時間を守って行動すること。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2	気持ちのよいあいさつをすること。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3	宿題や授業に必要な物を忘れないようにすること。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4	交通ルールを守ること。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5	落ちているゴミを進んでひろうこと。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6	学校の約束や決まりを守ること。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7	めんどくさいことがあっても、とちゅうで投げ出さないこと。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8	正しくないおこないや危険な行動へのさそいを、はっきりと、ことわること。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9	授業中は集中して学習や作業に取り組むこと。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10	友だちの悪口を言わないこと。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
11	仲間はずれをしないこと。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
12	友だちが無責任な発言や行動をしたのを見たとき、注意をすること。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
13	友だちの意見や発表を最後まで聞くこと。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
14	困っている友だちや下級生がいたら助けること。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
15	自分勝手にしないで、友だちと協力し助け合うこと。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
16	まかされた係・委員会の仕事を責任を持って取り組むこと。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
17	学校のそうじをまじめに取り組むこと。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
18	家の仕事を進んで手伝うこと。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。



規範意識に関する調査【学級担任用】

本調査は、「道徳の時間」における規範にかかわる内容（礼儀、節制、自律、責任、規則尊重、公德心、公正・公平）の指導について先生方にお聞きするものです。今年度の4月から現在までの「道徳の時間」の指導に関してお答えください。

ご多用中、大変恐縮ではございますが、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

選択式の回答は、該当箇所のマークを塗りつぶしてご回答ください。

: 空白マーク : 正しいぬりつぶし : 不十分なぬりつぶし

記述式の回答は、回答欄からはみ出さないように記入してください。

この用紙は機械で処理します。回答欄以外に書き込みをしたり、用紙を汚したり、折り目を付けたりしないように注意してください。

(1) あなたの担任している学年を教えてください。

1年生 2年生 3年生 4年生 5年生 6年生

(2) 規範について「道徳の時間」で扱う時、「規範の理解」「規範の納得」のどちらに重点をおいて指導していますか。（例）を参考にお答えください。

（例）規範の理解 … 決まりを教え、守ることが大事であることを伝える。

「交通信号は守らなくてはいけないものです」

規範の納得 … 決まりを守らなければならない意味を考えさせる。

「どうして交通信号を守らなければならないんだろう」

規範の理解

規範の納得

(3) 規範について学ぶ「道徳の時間」を構想する時、児童が主体的に規範の価値について考えを深められるように、教材研究を十分行っている。

よく当てはまる

どちらかといえば当てはまる

あまり当てはまらない

当てはまらない

(4) 規範について「道徳の時間」で扱った後、児童の発言や行動に明らかな変容がみられた。

よく当てはまる

どちらかといえば当てはまる

あまり当てはまらない

当てはまらない

(5) 「道徳の時間」を実践している中で、結論や価値を押し付けてしまったと感じたことや、児童の心情は高まったが、実践力の高まりにまでは繋がらなかったと感じたことがある。

よく当てはまる

どちらかといえば当てはまる

あまり当てはまらない

当てはまらない

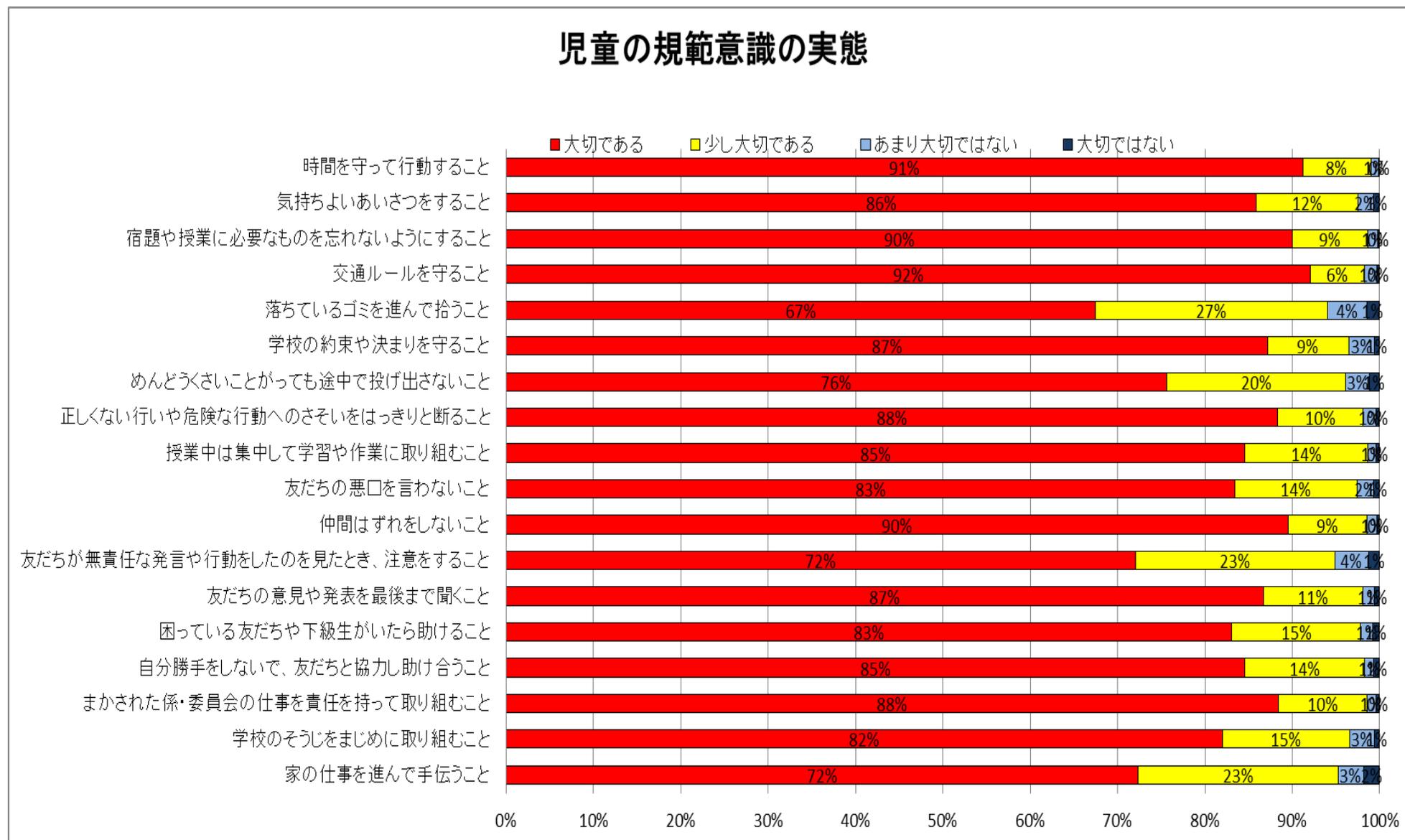


- (6) 道徳の時間において、規範の必要性や重要性を理解させる上で、次の指導方法の有効性（A）と指導の有無（B）について、お答えください。
 ((A)と(B)の両方の該当する箇所（各項目1カ所ずつ）を塗りつぶしてください)

		(A)有効性				(B)指導の有無			
		有効である	どちらかといえば有効である	あまり有効でない	有効でない	行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	行っていない
1	規範に関わる児童の実態を捉えた上で、道徳の授業を行うこと。	<input type="radio"/>							
2	悩みや葛藤等の心の揺れが生じ、規範について深く考えることができる資料を提示すること。	<input type="radio"/>							
3	規範の必要性を考えさせるような発問をすること。	<input type="radio"/>							
4	主人公のとった行動に対して、規範に関わる考え方や感じ方の根拠や理由を明確にできるように発問をすること。	<input type="radio"/>							
5	主人公がとった規範に関わる行動を、自分の体験におきかえて、考えさせるような発問をすること。	<input type="radio"/>							
6	葛藤場面において、主人公の心情の揺れ動きを自分におきかえて、気持ちを考えさせるような発問をすること。	<input type="radio"/>							
7	規範に対するものの見方や感じ方を比較させ、多様な考えを捉えさせるような少人数の話合いをもつこと。	<input type="radio"/>							
8	ねらいとする規範の価値に到達できるように、学級全体で話し合うこと。	<input type="radio"/>							
9	規範について、自分の考えや気持ちを書く活動を取り入れること。	<input type="radio"/>							
10	規範について考えさせる役割演技を取り入れ、登場人物の感じ方・考え方を捉えさせること。	<input type="radio"/>							
11	規範にかかわる教師の体験を説話として、児童に語って聞かせること。	<input type="radio"/>							
12	導入に、日常生活や体験活動等における規範を想起させるような場面を取り入れること。	<input type="radio"/>							
13	規範をわかっても守れない人間の弱さについて、考えさせる場面を取り入れること。	<input type="radio"/>							
14	規範の必要性を他者の立場になって考えさせる場面を取り入れること。	<input type="radio"/>							
15	日頃の子どもたちの規範行動について、ゲスト・ティーチャー（地域の人・教職員など）が語る場を設けること。	<input type="radio"/>							
16	展開後段に、規範を守ることができたときの理由や気持ちを見つめ直す場面を取り入れること。	<input type="radio"/>							

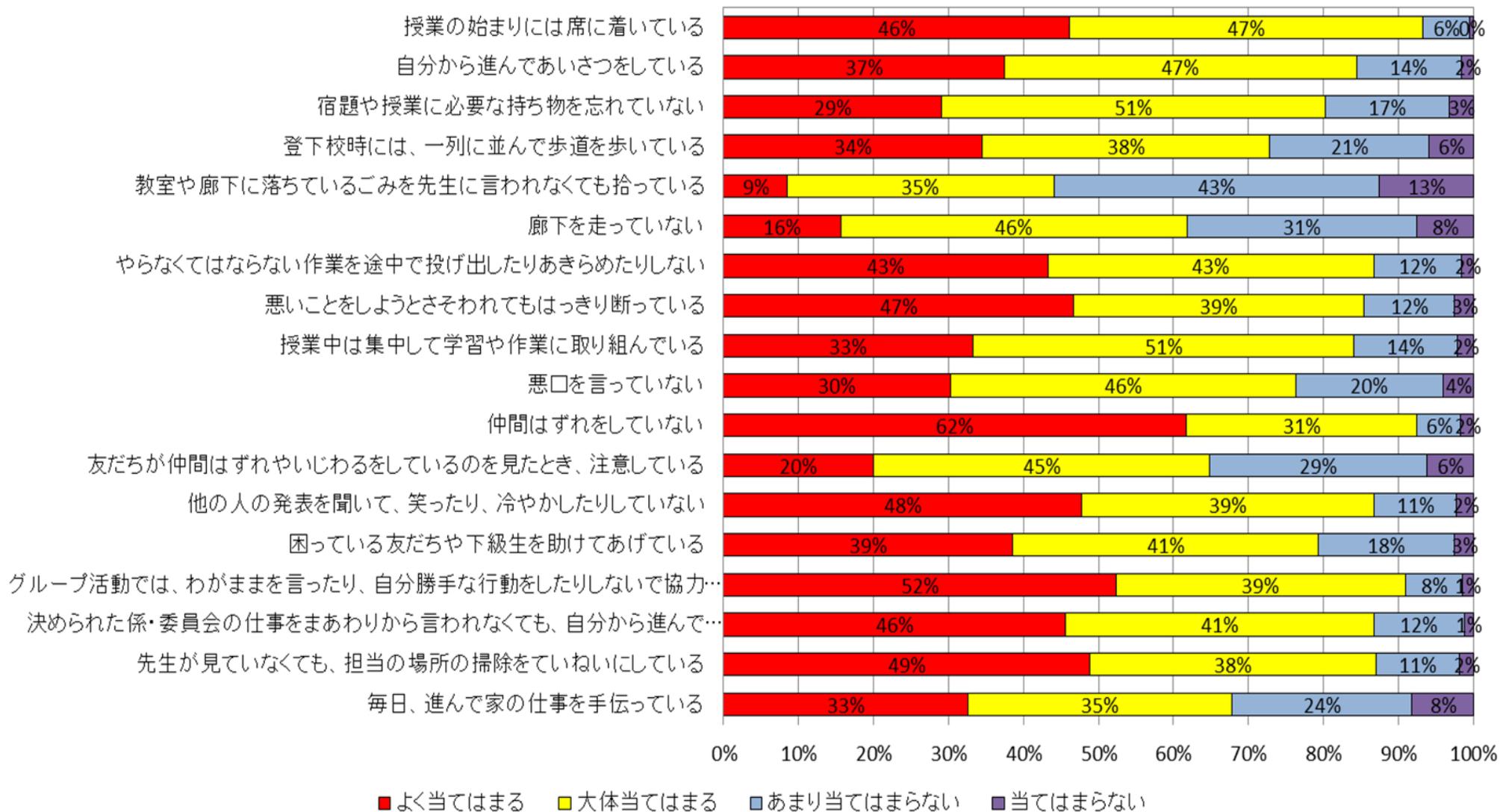
以上で終了です。ご協力ありがとうございました。

資料A 児童の規範意識の実態 (児童アンケート)



資料B 児童の規範を守る行動の実態（児童アンケート）

児童の規範を守る行動の実態



資料 C 児童の規範意識の実態（児童アンケート） χ^2 検定

内容項目	番号	質問項目	大切である	少し大切である	あまり大切ではない	大切ではない
基本的な生活習慣	1	時間を守って行動すること。	802 ▲**	68 ▽**	8 ▽*	1 ▽*
	2	気持ちのよいあいさつをすること。	755 +	102 +	16	6
	3	宿題や授業に必要な物を忘れないようにすること。	791 ▲**	76 ▽**	10 +	2 +
規則尊重・公德心	4	交通ルールを守ること。	809 ▲**	55 ▽**	12	3
	5	落ちていたゴミを進んでひろふこと。	592 ▽**	234 ▲**	39 ▲**	13 ▲**
	6	学校の約束や決まりを守ること。	766 ▲**	82 ▽**	26 ▲*	5
勤勉努力・自律	7	めんどうくさいことがあっても、とちゅうで投げ出さないこと。	665 ▽**	180 ▲**	24 +	10
	8	正しくないおこないや危険な行動へのさそいを、はっきりと、ことわること。	776 ▲**	86 ▽**	13	4
	9	授業中は集中して学習や作業に取り組むこと。	743	124	8 ▽*	4
公正公平・正義	10	友だちの悪口を言わないこと。	733	123	17	6
	11	仲間はずれをしないこと。	787 ▲**	79 ▽**	10 +	3
	12	友だちが無責任な発言や行動をしたのを見たとき、注意をすること。	633 ▽**	201 ▲**	34 ▲**	11 ▲*
思いやり	13	友だちの意見や発表を最後まで聞くこと。	762 ▲*	100 ▽*	12	5
	14	困っている友だちや下級生がいたら助けること。	730	130	12	7
	15	自分勝手にしないで、友だちと協力し助け合うこと。	743	121	9 ▽*	6
役割自覚・責任	16	まかされた係・委員会の仕事を責任を持って取り組むこと。	777 ▲**	89 ▽**	9 ▽*	4
	17	学校のそうじをまじめに取り組むこと。	721	128	25 +	5
	18	家の仕事を進んで手伝うこと。	636 ▽**	201 ▲**	26 ▲*	16 ▲**

$\chi^2(51) = 592.673$, $p < .01$
 $\Phi = 0.111$ $n = 879$

+ $p < .10$ * $p < .05$ ** $p < .01$
 (▲有意に多い、▽有意に少ない)

資料 D 児童の規範を守る行動（児童アンケート） χ^2 検定

道徳の内容項目	番号	質問項目	よく当てはまる	だいたい当てはまる	あまり当てはまらない	当てはまらない
基本的生活習慣	1	わたしは、授業の始まりには席についている。	406 ▲**	414 ▲**	55 ▼**	4 ▼**
	2	わたしは、朝、先生や友だちに自分から進んであいさつをしている。	329	413 ▲**	123 ▼*	14 ▼**
	3	わたしは、宿題や授業に必要な持ち物を忘れていない。	255 ▼**	450 ▲**	146	28
規則尊重・公德心	4	わたしは、登下校の時には、一列に並んで歩道を歩いている。	303 +	337 ▼*	187 ▲**	52 ▲**
	5	わたしは、教室やろう下に落ちているゴミを先生に言われなくてもひろっている。	75 ▼**	312 ▼**	382 ▲**	110 ▲**
	6	わたしは、ろうかを走っていない。	138 ▼**	405 ▲**	269 ▲**	67 ▲**
勤勉努力・自律	7	わたしは、やらなくてはならない作業をとちゅうで投げ出したり、あきらめたりしていない。	380 ▲**	382	103 ▼**	14 ▼**
	8	わたしは、友だちに悪いことをしようとさそわれても、はっきりと、ことわっている。	410 ▲**	341 +	106 ▼**	22 ▼*
	9	わたしは、授業中は集中して学習や作業に取り組んでいる。	292 ▼**	447 ▲**	121 ▼**	19 *
公正公平・正義	10	わたしは、友だちの悪口を言っていない。	266 ▼**	405 ▲**	172 ▲**	36
	11	わたしは、仲間はずれをしていない。	542 ▲**	271 ▼**	51 ▼**	15 ▼**
	12	わたしは、友だちが仲間はずれやいじわるをしているのを見たとき、注意している。	176 ▼**	394 +	255 ▲**	54 ▲*
思いやり	13	わたしは、他の人の発表を聞いてわらったりひやかしたりしていない。	420 ▲**	343 +	96 ▼**	20 ▼*
	14	わたしは、困っている友だちや下級生を助けてあげている。	339	358	160	22 ▼*
	15	グループ活動では、わがまを言ったり、自分勝手な行動をしったりしないで協力している。	460 ▲**	339 *	67 **	13 ▼**
役割自覚・責任	16	わたしは、決められた係・委員会の仕事をまわりから言われなくても、自分から進んでやっている。	401 ▲**	361	106 ▼**	11 ▼**
	17	わたしは、先生が見ていなくても、担当場所のそうじをていねいにしている。	429 ▲**	336 ▼*	97 ▼**	17 ▼**
	18	わたしは、毎日、進んで家の仕事を手伝っている。	286 ▼**	310 ▼**	211 ▲**	72 ▲**

$\chi^2(51)=2061.446$, $p<.01$
Phi=0.208 n=879

+ $p<.10$ * $p<.05$ ** $p<.01$
(▲有意に多い、▼有意に少ない)

資料E 規範の内面化と「道徳で学んだことを生活の中で思い出す」「家で話す」ことの関連を分析

マン・ホイットニの順位				マン・ホイットニの順位				マン・ホイットニの順位				マン・ホイットニの順位			
規範の内面化している児童と内面化していない児童では、道徳で学んだことを生活の中で思い出すことに違いがあるか				規範の内面化している児童と内面化していない児童では、家で話すことに違いがあるか				生活の中で思い出す児童と思い出さない児童とでは、規範の内面化に違いがあるか				家で話す児童と話さない児童とでは、規範の内面化に違いがあるか			
データ数	順位和	平均順位		データ数	順位和	平均順位		データ数	順位和	平均順位		データ数	順位和	平均順位	
内面化×	259	79226.5	305.8938	内面化×	259	82721	319.3861	思い出さな	197	60296	306.0711	話さない	386	141125	365.6088
内面化○	587	279054.5	475.391	内面化○	587	275560	469.4378	思い出す	649	297985	459.1448	話す	460	217156	472.0783
検定の結果				検定の結果				検定の結果				検定の結果			
U値		45556.5		U値		49051		U値		40793		U値		66434	
U'値		106476.5		U'値		102982		U'値		87060		U'値		111126	
Z値		-9.29844		Z値		-8.23168		Z値		-7.70078		Z値		-6.31213	
P値(両側確率)		0		P値(両側確率)		2.22E-16		P値(両側確率)		1.35E-14		P値(両側確率)		2.75E-10	
同順位補正Z値		-9.94696		同順位補正Z値		-8.53155		同順位補正Z値		-9.64662		同順位補正Z値		-7.90709	
同順位補正P値(両側確率)		0		同順位補正P値(両側確率)		0		同順位補正P値(両側確率)		0		同順位補正P値(両側確率)		2.66E-15	
同順位の数		4		同順位の数		4		同順位の数		2		同順位の数		2	
Z(0.975)		1.959964		Z(0.975)		1.959964		Z(0.975)		1.959964		Z(0.975)		1.959964	

P値による判定では、

同順位補正P値（両側確率）が危険率以下（ $P < 0.05$ ）のとき、2群に傾向の差があると言える。

境界値による判定では、

同順位補正Z値の絶対値が境界値Z（0.975）以上のとき、2群に傾向の差があると言える。

4つの検定結果は、どれもP値による判定においても、境界値による判定においてもクリアしているので、2群に傾向の差があると言える。

資料 F

ピアソンの相関係数の検定

相関係数行列

	基本的生活習慣意識	規則尊重・公德心意識	勤勉努力・自律意識	公平公正・正義意識	思いやり意識	役割責任意識
基本的生活習慣意識	1	0.73654503	0.690119473	0.675960148	0.718634664	0.650731523
規則尊重・公德心意識	0.73654503	1	0.742407694	0.719922028	0.742473202	0.720756681
勤勉努力・自律意識	0.690119473	0.742407694	1	0.720420425	0.736758455	0.735561325
公平公正・正義意識	0.675960148	0.719922028	0.720420425	1	0.743732521	0.695656251
思いやり意識	0.718634664	0.742473202	0.736758455	0.743732521	1	0.788926161
役割責任意識	0.650731523	0.720756681	0.735561325	0.695656251	0.788926161	1

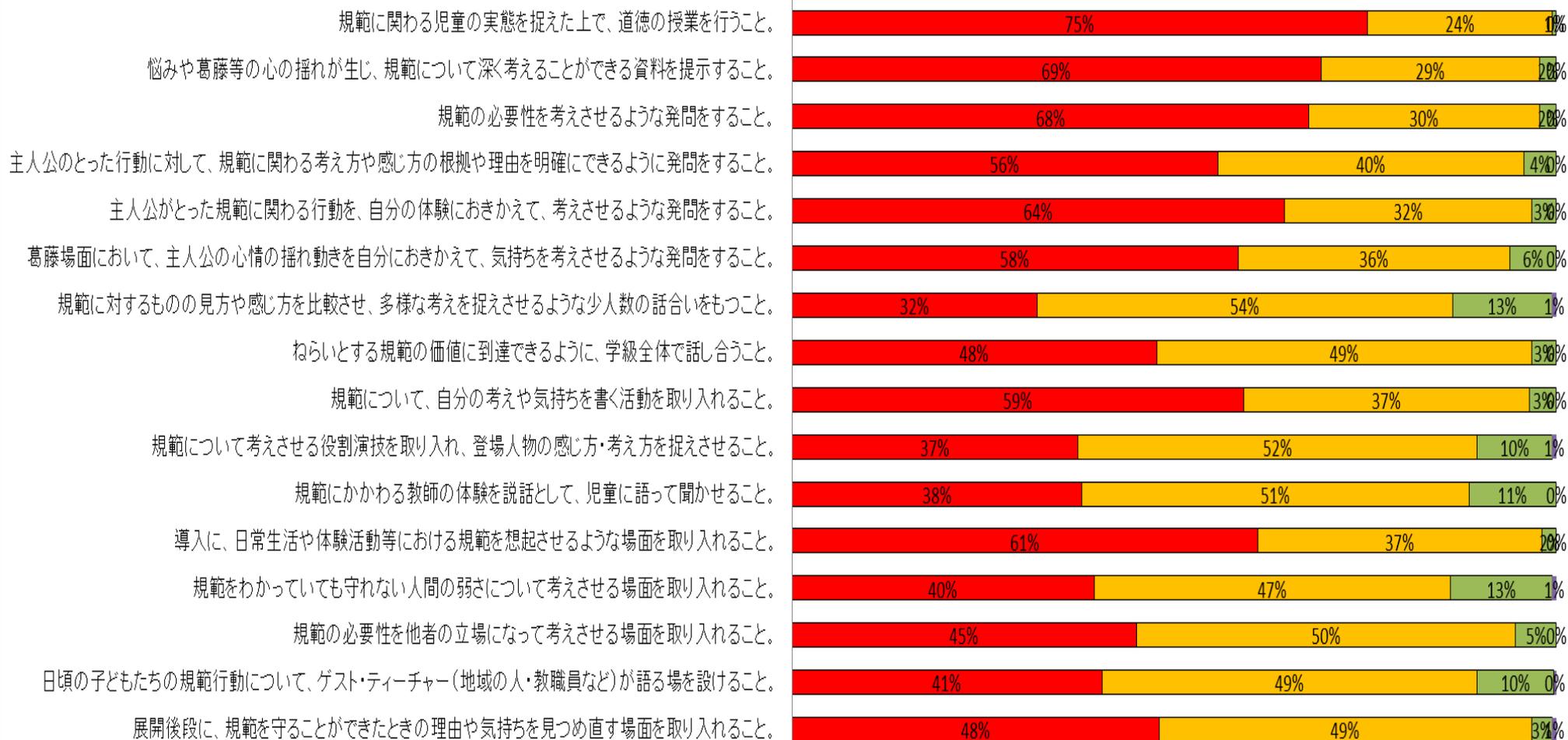
0.7 以上は強い相関関係にある

0.4 以上 0.7 未満は正の相関関係にある

資料 G 道徳の時間の規範を育むための指導方法の有効性（教師アンケート）

道徳の時間の規範を育むための指導方法の有効性

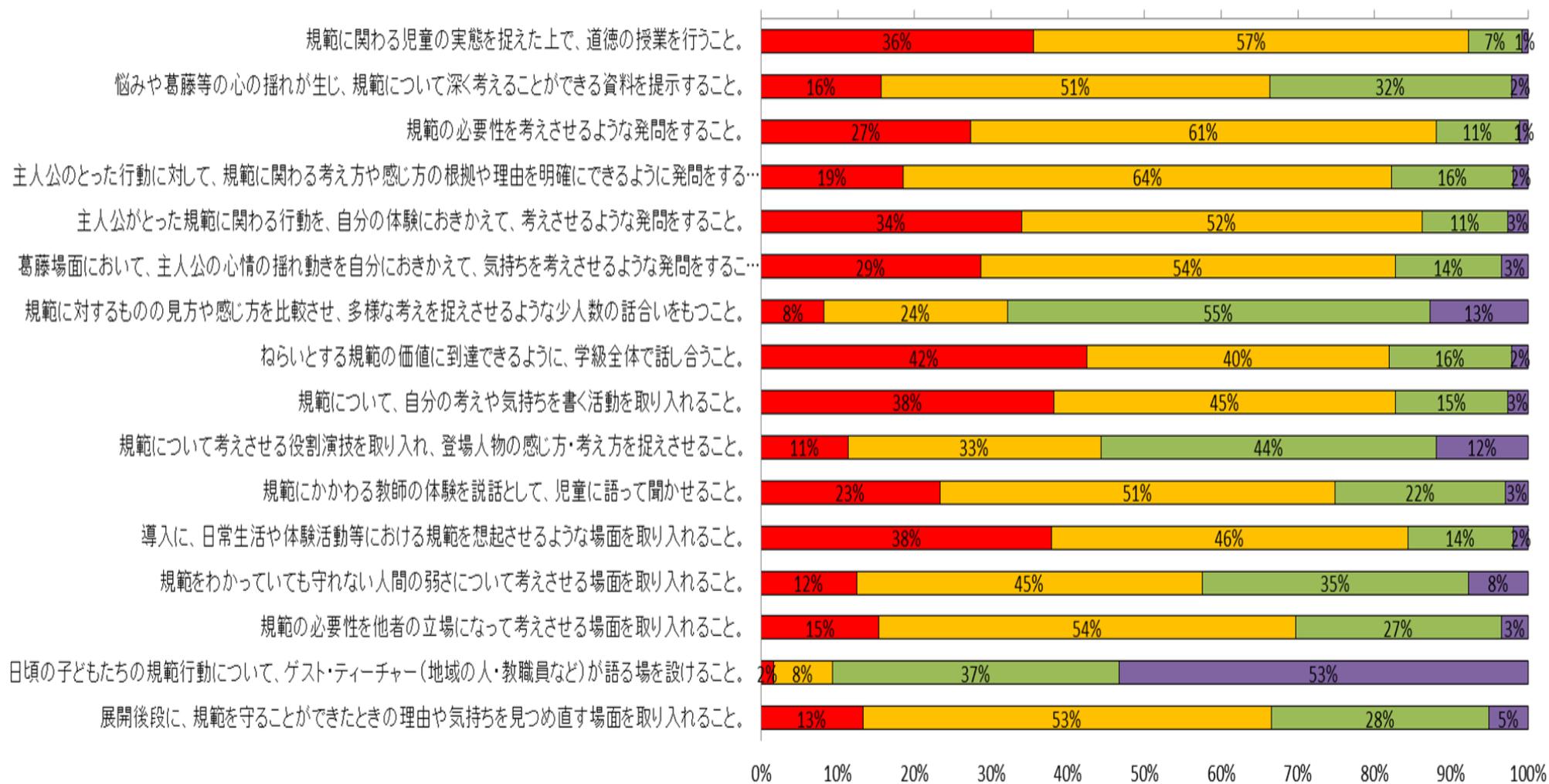
■有効である ■どちらかといえば有効である ■あまり有効でない ■有効でない



資料 H 道徳の時間に行っている指導方法（教師アンケート）

道徳の時間に行っている指導方法

■行っている ■どちらかといえば行っている ■あまり行っていない ■行っていない



資料 I 道徳の時間において規範の納得を重視した教師と規範の理解を重視した教師の指導の比較

教師の指導方法χ²検定

規範指導質問項目	規範の納得を重視した教師				規範の理解を重視した教師			
	行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	行っていない	行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	行っていない
規範に関わる児童の実態を捉えた上で、道徳の授業を行うこと。	82 ▲**	89	5 ▼**	1 ▼**	22	70 ▲**	9 ▼**	0 ▼**
悩みや葛藤等の心の揺れが生じ、規範について深く考えることができる資料を提示すること。	36 ▼**	99 ▲**	38	4 +	11 +	47	42 ▲**	1 ▼**
規範の必要性を考えさせるような発問をすること。	64 ▲*	103 ▲**	9 ▼**	1 ▼**	21	64 ▲**	15 ▼**	1 ▼**
主人公の行った行動に対して、規範に関わる考え方や感じ方の根拠や理由を明確にできるように発問をすること。	45	111 ▲**	18 ▼**	3 *	13	68 ▲**	19 ▼*	1 ▼**
主人公がとった規範に関わる行動を、自分の体験におきかえて、考えさせるような発問をすること。	80 ▲**	81	11 ▼**	5	27 ▲**	58 ▲*	15 ▼**	1 ▼**
葛藤場面において、主人公の心情の揺れ動きを自分におきかえて、気持ちを考えさせるような発問をすること。	69 ▲**	89	12 ▼**	7	21	52	24	4
規範に対するものの見方や感じ方を比較させ、多様な考えを捉えさせるような少人数の話合いをもつこと。	21 ▼**	41 ▼**	99 ▲**	16 ▲**	6 ▼**	26 ▼**	52 ▲**	17 ▲**
ねらいとする規範の価値に到達できるように、学級全体で話し合うこと。	74 ▲**	86	15 ▼**	2 ▼**	21	40	35	5
規範について、自分の考えや気持ちを書く活動を取り入れること。	77 ▲**	80	16 ▼**	4 +	35 ▲**	39 +	24	3 +
規範について考えさせる役割演技を取り入れ、登場人物の感じ方・考え方を捉えさせること。	30 ▼**	57 ▼**	75 ▲**	15 +	9 ▼*	39 +	43 ▲**	10
規範にかかわる教師の体験を説話として、児童に語って聞かせること。	53	95 ▲*	28	1 ▼**	20	52	25	4
導入に、日常生活や体験活動等における規範を想起させるような場面を取り入れること。	84 ▲**	79	12 ▼**	2 ▼**	31 ▲**	50	18 ▼*	2 ▼*
規範をわかっても守れない人間の弱さについて考えさせる場面を取り入れること。	29 ▼**	89	50 ▲**	9	10 ▼*	38 +	41 ▲**	12
規範の必要性を他者の立場になって考えさせる場面を取り入れること。	42 +	100 ▲**	32 +	3 ▼*	10 ▼*	49	35	7
日頃の子どもの規範行動について、ゲスト・ティーチャー(地域の人・教職員など)が語る場を設けること。	4 ▼**	13 ▼**	82 ▲**	78 ▲**	2 ▼**	8 ▼**	35	56 ▲**
展開後段に、規範を守ることができたときの理由や気持ちを見つめ直す場面を取り入れること。	37 ▼*	96 ▲*	40	4 +	10 ▼*	53	31	7

x²(45)=1207.914 , p<.01 n=177 Phi=0.377 x²(45)= 576.834 , p<.01 n=101 Phi=0.344